

サマーレビュー協議事項調書

1 部局名 (課名)	デジタル・スマートシティ推進部 (デジタル・スマートシティ推進課)	
2 協議事項 (案件名)	データ活用・可視化の共通基盤や活用環境の整備と人材育成について	
3 背景・現状 (現状把握できる統計数値など)	<ul style="list-style-type: none"> ・市では多種多様なデータを保有しているが、現状としてそれらのデータを効果的・効率的に分析できていない。 ・市が保有するデータについて、可視化ツールを活用することで効率的にデータが分析できることとなり、政策立案や事業実施における分析精度の向上に役立てることができる。 ・2022(令和4)年10月に、神戸市のデータ分析に関する取組が、総務省が実施する「Data StaRt Award」で総務大臣賞を受賞。 ・令和5年度、デジタル・スマートシティ推進課で、可視化ツール(tableau)を3業務に導入するとともに職員向けの研修会を実施。 	
4 検討経過・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル・スマートシティ推進課で、可視化ツール(tableau)を3ライセンス導入 ※利用課：デジタル・スマートシティ推進課、職員厚生課、アセットマネジメント推進課 ・2023(令和5)年7月に庁内の希望者を対象とし、可視化ツールを活用したデータの可視化に関する研修を開催 ・データ活用・可視化のための庁内データ分析基盤に関する調査・研究を実施 	
5-1 方向性の提案 (目指すべき姿)	<p>以下を実現し、効率的・効果的なデータドリブン型組織を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹系システムから抽出・抽象加工したデータやその他保有する統計データを庁内データ分析基盤上に保管・蓄積し、可視化ツールでデータの分析を行う。 ・職員自らがデータを可視化・分析できるように人材を育成する。 	
5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項 (妥当性、必要性、有効性など)	<p>庁内データ分析基盤を構築し、BIツールを本格導入する。</p> <p>《スケジュール》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023(R5)年度 調査研究、R6年度当初予算要求 ・2024(R6)年度 基幹系システムに格納されているデータの抽出加工 庁内データ分析基盤を構築 データ分析を行うことのできる人材育成 ・2025(R7)年度以降 順次機能拡大 	
6 結果	<input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p>
	7 その他	